



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月1日

上場会社名 荏原実業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6328 URL <https://www.ejk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 会長 兼 社長 (氏名) 鈴木 久司

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 総合企画室長 (氏名) 大野 周司

TEL 03-5565-2885

四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第3四半期 | 21,696 | 11.8 | 1,820 | 31.5 | 1,900 | 29.1 | 1,335 | 22.4 |
| 29年12月期第3四半期 | 19,409 | 4.1 | 1,383 | 59.6 | 1,471 | 54.3 | 1,090 | 62.4 |

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 1,288百万円 (31.6%) 29年12月期第3四半期 1,884百万円 (200.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年12月期第3四半期 | 200.73 | |
| 29年12月期第3四半期 | 162.64 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年12月期第3四半期 | 26,133 | 13,430 | 51.4 |
| 29年12月期 | 25,990 | 12,769 | 49.1 |

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 13,430百万円 29年12月期 12,769百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期 | | 22.50 | | 27.50 | 50.00 |
| 30年12月期 | | 25.00 | | | |
| 30年12月期(予想) | | | | 25.00 | 50.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 30,000 | 14.9 | 1,880 | 9.5 | 2,000 | 8.2 | 1,470 | 8.6 | 222.99 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年12月期3Q | 6,715,000 株 | 29年12月期 | 6,715,000 株 |
| 期末自己株式数 | 30年12月期3Q | 122,867 株 | 29年12月期 | 7,741 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年12月期3Q | 6,654,108 株 | 29年12月期3Q | 6,707,303 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成30年1月1日から平成30年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境、個人所得に改善が見られ、緩やかな回復基調が続いております。しかし、多発する自然災害、金融資本市場の変動、海外の政治・経済の不安定な動向など留意すべき状況も増しており、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社を取り巻く環境装置機械業界においては、公共分野では、上下水道関連施設の更新・改修・機能強化（遠隔監視等）、災害対策などの需要が引き続き活発であります。また、民間分野では、首都圏を中心とした都市再開発需要が依然として底堅いものの、景気の先行きの不透明感を反映し、一部に停滞感も見られつつあります。

このような事業環境の下、当社グループは、企業価値の向上を目指し、以下の戦略に取り組んでおります。

(環境関連)

自社製品を核とした収益基盤の拡大を図るために、

- ① 既存製品の競争力を強化する。
- ② メンテナンス・サービスを強化し、アフターマーケットを獲得する。
- ③ 製品・技術開発によって継続的に新商材を投入する。

(水処理関連)

販売エリアの拡大と営業力強化のために、

- ① 西日本を中心とした販売実績の少ないエリアへのアプローチを強化する。
- ② 高まる防災需要へのアプローチを強化する。
- ③ 選別受注、積算精度の向上、原価意識の徹底など売上総利益率向上のための取り組みを継続する。

(風水力冷熱機器等関連)

引き続き活発な建設需要を取り込むために、

- ① 都市再開発、東京オリンピック・パラリンピック需要などに対するアプローチを継続する。
- ② 多様化するニーズに対応し、取扱製品の拡充を図る。

これらの活動の結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は182億80百万円（前年同期比19.7%減）、売上高は216億96百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は18億20百万円（前年同期比31.5%増）、経常利益は19億円（前年同期比29.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億35百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(環境関連)

環境関連製品の製造・販売を手掛ける当セグメントの受注高は、水処理プラント分野では前年同期を上回ったものの、計測・脱臭・省エネプロダクト分野で前年同期を下回りました。売上高は、省エネプロダクト・水処理プラント分野では前年同期に比べ減少したものの、期首受注残高の増加を背景に計測・脱臭分野で前年同期を上回りました。

これらの結果、当セグメントの受注高は41億53百万円（前年同期比12.0%減）、売上高は38億57百万円（前年同期比3.8%増）となりました。また、セグメント利益も売上高の増加に伴い、前年同期比81.0%増となる6億43百万円となりました。

(水処理関連)

上下水道向けの設計・施工を手掛ける当セグメントの受注高は、公共案件の発注時期が前年に比べ遅れている面もあり、前年同期比36.7%減の66億51百万円となりました。売上高は、上下水道関連施設の更新案件等が増加したことによって前年同期比22.0%増の106億73百万円となりました。また、セグメント利益も売上高の増加に伴い、前年同期比34.0%増となる11億91百万円となりました。

(風水力冷熱機器等関連)

主にポンプ、冷凍機、空調機器などを商社として販売する当セグメントは、首都圏の再開発案件等が増加したことによって、売上高は前年同期比3.2%増の71億65百万円となりました。しかし、景気の先行きの不透明感を反映し、一部に停滞感も見られ、受注高は前年同期比0.8%減の74億76百万円、セグメント利益は前年同期比26.4%減の4億91百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高(百万円) | 前年同期比(%) | 受注残高(百万円) | 前年同期比(%) |
|------------|----------|----------|-----------|----------|
| 環境関連 | 4,153 | 88.0 | 3,065 | 111.3 |
| 水処理関連 | 6,651 | 63.3 | 10,148 | 85.5 |
| 風水力冷熱機器等関連 | 7,476 | 99.2 | 4,355 | 103.5 |
| 合計 | 18,280 | 80.3 | 17,569 | 93.3 |

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加し、261億33百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加26億79百万円、受取手形及び売掛金の減少18億50百万円、棚卸資産の減少88百万円、保険積立金の減少2億1百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億18百万円減少し、127億2百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少52百万円、前受金の減少5億77百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億60百万円増加し、134億30百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益13億35百万円の計上及び剰余金の配当3億49百万円、自己株式の取得2億78百万円等であります。この結果、自己資本比率は51.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月7日付「平成29年12月期 決算短信」にて発表しました平成30年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,930 | 6,609 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,573 | 7,722 |
| 有価証券 | 100 | 96 |
| 商品及び製品 | 739 | 827 |
| 仕掛品 | 201 | 224 |
| 未成工事支出金 | 673 | 449 |
| 原材料及び貯蔵品 | 210 | 235 |
| 繰延税金資産 | 63 | 107 |
| その他 | 644 | 209 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 16,135 | 16,480 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,011 | 3,180 |
| 減価償却累計額 | △1,588 | △1,659 |
| 建物及び構築物 (純額) | 1,422 | 1,521 |
| 機械装置及び運搬具 | 125 | 138 |
| 減価償却累計額 | △79 | △93 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 46 | 45 |
| 工具、器具及び備品 | 569 | 597 |
| 減価償却累計額 | △459 | △488 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 109 | 108 |
| 土地 | 1,420 | 1,420 |
| その他 | 72 | 6 |
| 減価償却累計額 | △5 | △6 |
| その他 (純額) | 66 | 0 |
| 有形固定資産合計 | 3,066 | 3,096 |
| 無形固定資産 | 37 | 72 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 4,827 | 4,772 |
| 保険積立金 | 1,145 | 943 |
| 投資不動産 (純額) | 634 | 629 |
| 繰延税金資産 | 4 | 4 |
| その他 | 248 | 240 |
| 貸倒引当金 | △108 | △107 |
| 投資その他の資産合計 | 6,752 | 6,483 |
| 固定資産合計 | 9,855 | 9,652 |
| 資産合計 | 25,990 | 26,133 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 8,040 | 7,988 |
| 短期借入金 | 1,090 | 1,090 |
| 未払法人税等 | 397 | 369 |
| 未払消費税等 | 15 | 185 |
| 前受金 | 1,619 | 1,042 |
| 賞与引当金 | - | 198 |
| 工事損失引当金 | 2 | - |
| その他 | 619 | 420 |
| 流動負債合計 | 11,784 | 11,293 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,058 | 1,033 |
| 役員退職慰労引当金 | 187 | 158 |
| 退職給付に係る負債 | 120 | 145 |
| その他 | 70 | 71 |
| 固定負債合計 | 1,436 | 1,408 |
| 負債合計 | 13,221 | 12,702 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,001 | 1,001 |
| 資本剰余金 | 831 | 831 |
| 利益剰余金 | 8,661 | 9,647 |
| 自己株式 | △12 | △291 |
| 株主資本合計 | 10,481 | 11,189 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,396 | 2,332 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △108 | △90 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,288 | 2,241 |
| 純資産合計 | 12,769 | 13,430 |
| 負債純資産合計 | 25,990 | 26,133 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 19,409 | 21,696 |
| 売上原価 | 13,983 | 15,882 |
| 売上総利益 | 5,426 | 5,814 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,042 | 3,994 |
| 営業利益 | 1,383 | 1,820 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 1 |
| 受取配当金 | 37 | 49 |
| 投資不動産賃貸料 | 67 | 70 |
| 受取保険金 | 0 | 12 |
| その他 | 26 | 23 |
| 営業外収益合計 | 132 | 156 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5 | 6 |
| 不動産賃貸費用 | 28 | 30 |
| 保険解約損 | - | 34 |
| その他 | 11 | 4 |
| 営業外費用合計 | 45 | 75 |
| 経常利益 | 1,471 | 1,900 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,471 | 1,900 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 457 | 613 |
| 法人税等調整額 | △76 | △48 |
| 法人税等合計 | 380 | 564 |
| 四半期純利益 | 1,090 | 1,335 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,090 | 1,335 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,090 | 1,335 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 774 | △64 |
| 退職給付に係る調整額 | 18 | 17 |
| その他の包括利益合計 | 793 | △47 |
| 四半期包括利益 | 1,884 | 1,288 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,884 | 1,288 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月22日開催の取締役会決議に基づき、自己株式115,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が278百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が291百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 |
|-----------------------|---------|-------|----------------|--------|--------------|----------------------------|
| | 環境関連 | 水処理関連 | 風水力冷熱 機器等関連 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,717 | 8,747 | 6,945 | 19,409 | - | 19,409 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,717 | 8,747 | 6,945 | 19,409 | - | 19,409 |
| セグメント利益 | 355 | 888 | 667 | 1,912 | △528 | 1,383 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2 |
|-----------------------|---------|--------|----------------|--------|--------------|----------------------------|
| | 環境関連 | 水処理関連 | 風水力冷熱 機器等関連 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,857 | 10,673 | 7,165 | 21,696 | - | 21,696 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 3,857 | 10,673 | 7,165 | 21,696 | - | 21,696 |
| セグメント利益 | 643 | 1,191 | 491 | 2,326 | △506 | 1,820 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。